

九重火山からの二酸化イオウの放出量(2)*

Emission rate of SO₂ at Kuju Volcano (2)

九州大学理学部
附属島原地震火山観測所
Kyusbu Univ.

島原地震火山観測所では、1995年10月11日の九重火山の噴火以降、同火山硫黄山周辺からの二酸化イオウの放出量を COSPEC を用いた遠隔測定により計測している。1996年5月16日まで計9回の測定を行ったが、方法はいずれも噴煙下を COSPEC を搭載した観測車で横切って測定する Traverse 法である。

測定結果を第1表および第1図に示す。1996年2月以降の測定では、噴火開始当初に比べ、SO₂ 放出量がやや減少している。

参 考 文 献

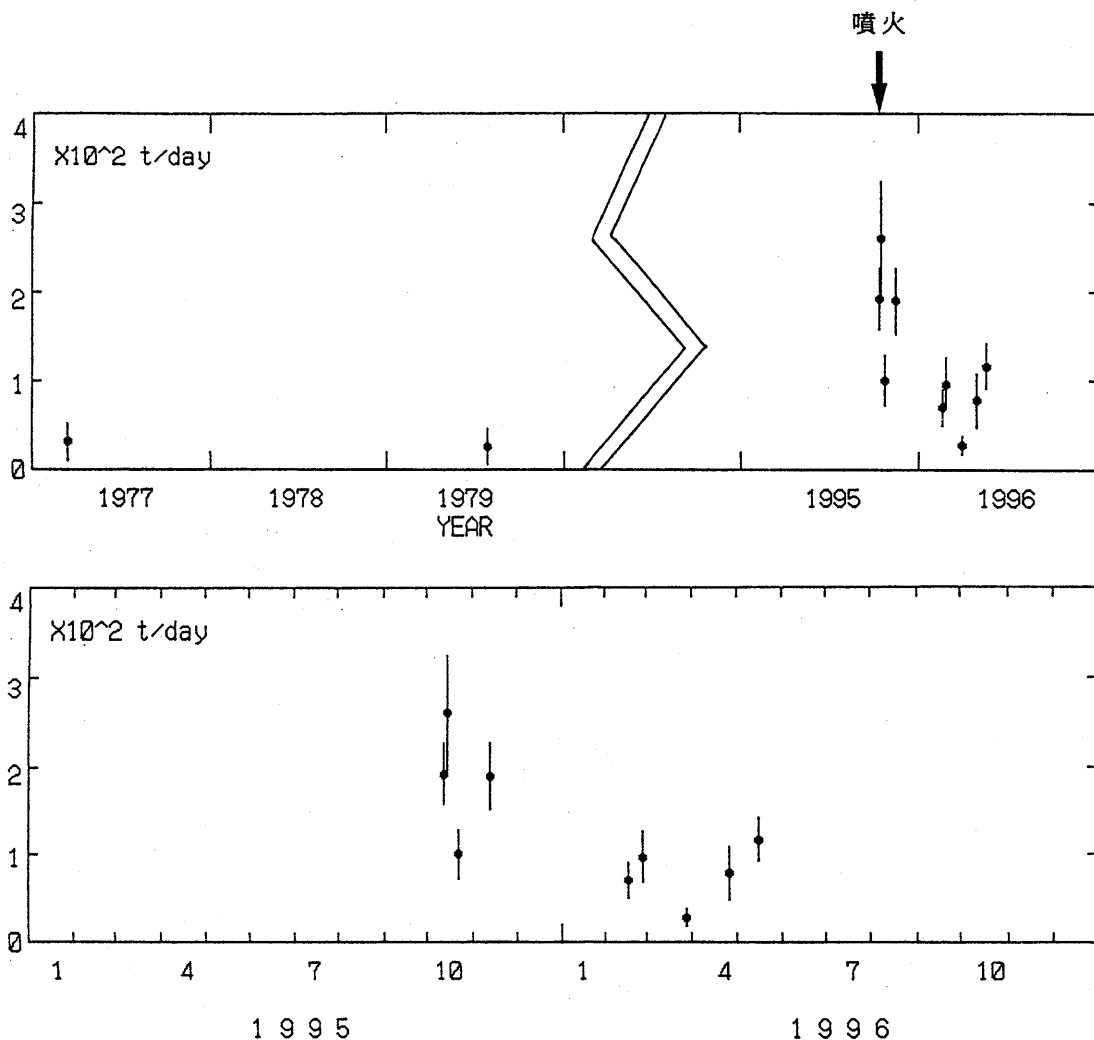
- 鎌田政明・太田一也 (1977) : 桜島火山南岳からの SO₂ 放出量. 第2回桜島火山の集中総合観測報告書, 98-104.
江原幸雄・湯原浩三・野田徹郎 (1981) : 九重硫黄山からの放熱量・噴出水量・火山ガス放出量とそれから推定される熱水系と火山ガスの起源, 火山, 26, 35-56.

* Received 25 July, 1996

第 1 表 二酸化イオウ放出量測定値
Table 1 Measurement of SO₂ emission at Kuju Volcano.

測定日	測定回数	放出量	放出量平均値	標準偏差	測定方法	備考
1977/ 3/14		11~ 53t/day			C P	鎌田・太田
1979/ 7		6~ 57	26t/day		成分比	江原他
1995/10/13	10	143~266	192	34	C T	
1995/10/15	6	165~345	261	64	C T	
1995/10/23	4	61~139	100	28	C T	
1995/11/13	8	154~258	190	37	C T	
1996/ 2/16	10	111~ 43	70	20	C T	
1996/ 2/26	4	66~135	97	29	C T	
1996/ 3/28	8	20~ 47	28	10	C T	悪天候のため噴煙見えず
1996/ 4/26	4	36~122	78	30	C T	
1996/ 5/16	8	73~135	117	25	C T	

注) C P : COSPEC(PANNING)
C T : COSPEC(TRVERSE)



第 1 図 九重火山における二酸化イオウ放出量の推移
Fig. 1 Variation of SO₂ emission rate at Kuju Volcano.